


畜産で働くまでのステップ

畜産を職業とするには、さまざまな方法があります。ここでは、代表的なステップを紹介します。

1 知る

本やインターネットで情報を収集したり、就農・就職した先輩や地域の経営者の話を聞いて、畜産で働くイメージを持つ。



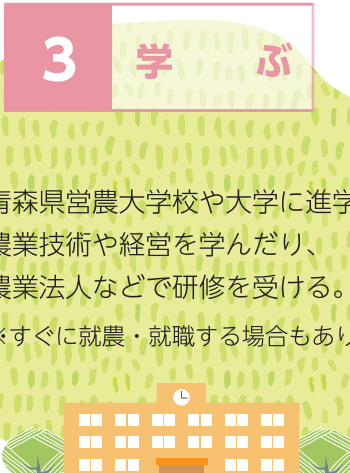
2 体験する

インターンシップ等を活用して畜産を体験



3 学ぶ

青森県営農大学校や大学に進学し、農業技術や経営を学んだり、農業法人などで研修を受ける。
※すぐに就農・就職する場合もあり



4 準備する

就農イベントへの参加 や 農業法人の求人情報を 収集したり、企業が実施する説明会 に参加する。



5 就農・就職する

- 就農計画を立てる。
- 農地や牛舎、機械など経営を開始するために必要なものを準備する。

就農 **農業法人に就職**
(独立する場合もある)



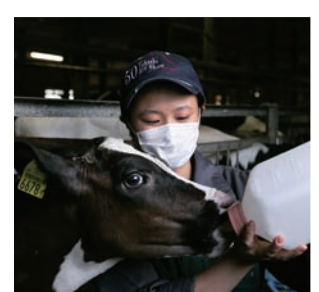
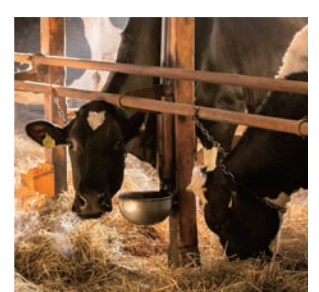
畜産 Q&A

Q1 どんな人が向いている？
A1 動物を育てる仕事となるので、動物に対して真摯に向き合える人。

Q2 始める前に専門的な知識が必要？
A2 独立して自身で経営する場合、畜産に関する知識の習得は必要です。例えば、県内にある営農大学校等では、家畜の飼養管理や堆肥処理方法など、畜産の基本的な知識を身につけることができます。
一方、農業法人へ就職する場合、就職後に研修等で上司や先輩から教えてもらいながら仕事を覚えていくため、必ずしも農業高校出身でなくても、また、他産業からの転職などでも働くことは可能です。

Q3 休みはある？
A3 生きている動物と接する仕事なので、毎日給餌等は必要となりますが、酪農をはじめとして、搾乳や給餌等を代わりにしてくれるヘルパー制度を活用し、休日に買い物をしたり、家族で旅行などをして、仕事と休みを両立している人もいます。
また、農業法人、特に大規模の経営体においては、雇用条件の整備や福利厚生が充実している所が多く、ワークライフバランスに取り組みやすい環境となっています。

Q4 力仕事のイメージがあるけど、女性でも大丈夫？
A4 一般的にこれまでの畜産では、除糞や給餌作業など、体力が必要な場面もありましたが、単純労働の機械化・効率化を図っている経営体が増えており、実際に本冊子で紹介した坂田さんや織川さん、岡本さんなど畜産で活躍している女性は多くいます。



Work Style
